

近江八幡市で交流会、担い手サミット

「販売力磨き、経営発展を」



講師の講演に聞き入る参加者ら

【滋賀】滋賀県農業法人協会(岡村久悦会長)と滋賀県農業(近江八幡市内)で「近畿府県農業法人組織現地交流会」を開催。滋賀県農業担い手サミット(県・公財)が主催。農林漁業担い手育成基金との連携を開き、担い手農業者や関係機関などが参加した。

【大阪】「人口約40万人の都市でも、イチゴを栽培している」と地域の人々に知ってもらいたいと話すのは、豊中市の半田益宏さん(73)。2021年6月にハウス10坪でイチゴ栽培を始めた「半田ファーム・じえっとハウス」の代表で、農業委員会会長職務代理も務める。

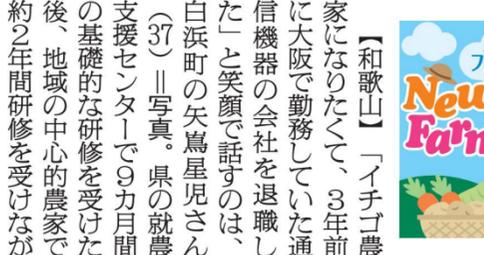
ジェット機の下でイチゴ栽培 都市農業の強み活かす

豊中市 半田益宏さん



「豊中のおいしいイチゴで農業に親しみを感じてほしい」と半田さん

田ファーム・じえっとハウス(豊中)の代表で、農業委員会会長職務代理も務める。豊中市の都市農業ならではの強みを生かして、朝摘みの新鮮イチゴを販売している。



【和歌山】「イチゴ農家になりたくて、3年前に大阪で勤務していた通信機器の会社を退職した」と笑顔で話すのは、白浜町の矢鳥星見さん(37)。「写真」の就農支援センターで9カ月間の基礎的な研修を受けた後、地域の中心農家で約2年間研修を受けた。農地を探し、昨年春から自身の営農をスタートさせた。

念願のイチゴ農家に転身 昨年春から就農、充実した日々

農家から施設を紹介してもらった矢鳥さんは「念願だったイチゴ栽培ができて、充実した毎日を過ごしている。失敗することもあるが、これからもイチゴ栽培をがんばりたい」と抱負を語った。(大野慎介)

白浜町 矢鳥星見さん

「旬のイチゴが人気です。ぜひ買いにきてください」と話す宇野店長



【奈良】道の駅「クロスウェイなかもち」(奈良市)に併設された農産物直売所「旬の駅クロスウェイなかもち」は、昨年から近隣住民・観光客が新鮮な農産物を求め、毎日にごわついている。地域の生産者から届く新鮮でおいしい旬の野菜

奈良市 新鮮な農産物ににぎわい

商品POPで紹介、地産地消PR

道の駅「クロスウェイなかもち」

【奈良】道の駅「クロスウェイなかもち」(奈良市)に併設された農産物直売所「旬の駅クロスウェイなかもち」は、昨年から近隣住民・観光客が新鮮な農産物を求め、毎日にごわついている。地域の生産者から届く新鮮でおいしい旬の野菜

【大阪】「人口約40万人の都市でも、イチゴを栽培している」と地域の人々に知ってもらいたいと話すのは、豊中市の半田益宏さん(73)。2021年6月にハウス10坪でイチゴ栽培を始めた「半田ファーム・じえっとハウス」の代表で、農業委員会会長職務代理も務める。

【和歌山】「イチゴ農家になりたくて、3年前に大阪で勤務していた通信機器の会社を退職した」と笑顔で話すのは、白浜町の矢鳥星見さん(37)。「写真」の就農支援センターで9カ月間の基礎的な研修を受けた後、地域の中心農家で約2年間研修を受けた。農地を探し、昨年春から自身の営農をスタートさせた。

青年 奮闘中

▷31

加東市 田尻倫生さん

【兵庫】加東市の田尻 山田錦を中心に、イチゴ栽培を営む田尻倫生さん(38)は、昨年5月に農業委員に就任した。もともと地元で料理人として働いていたが、8年前に父の農作業を手伝ったことがきっかけで就農を決めた。

地元農業の魅力発信に力

遊休農地解消、酒米づくり通して



山田錦の圃場で田尻さん

乙訓農業委員会協議会



【京都】乙訓地域(向日市・長岡京市・大山崎町)の農業委員会(乙訓農業委員会協議会)は2月5日、「相続登記の義務化で合同研修会」を開催。京都府地方自治課の講師による研修会を開催。乙訓農業委員会協議会は2月5日、「相続登記の義務化で合同研修会」を開催。京都府地方自治課の講師による研修会を開催。

法務局の出前講座活用 相続登記の義務化で合同研修会

【京都】乙訓地域(向日市・長岡京市・大山崎町)の農業委員会(乙訓農業委員会協議会)は2月5日、「相続登記の義務化で合同研修会」を開催。京都府地方自治課の講師による研修会を開催。乙訓農業委員会協議会は2月5日、「相続登記の義務化で合同研修会」を開催。京都府地方自治課の講師による研修会を開催。

近畿

近畿総局 京都府農業会議

京都市上京区出水通油小路東入丁子風呂町104-2 府庁西別館内 075-441-3660

滋賀県支局 077-523-2439

大阪府支局 06-6941-2701

兵庫県支局 078-391-1221

奈良県支局 0742-221101

和歌山県支局 073-432-6114

(会沢仁史)